

第5期 令和3(2021)年度 新宿区多文化共生まちづくり会議 第3回 第1部会 議事概要

日 時 2021年8月24日（火）10:00～12:00

場 所 しんじゅく多文化共生プラザ

出席委員 小林委員、郭委員、松田委員、李委員、金（勲）委員、ブサン委員、ドゥラ委員、朴委員、
盛委員、タイン委員 10名

欠席委員 毛受委員、レックス委員、江副委員、安藤委員、井上委員、本多委員 6名

1 開会

2 議事

(1) 前回までの進捗

審議経過について、事務局から説明を受けた。

(2) 提供する情報の仕分け

「新たに入国する外国人向けの情報」に関し、国発行「生活・仕事ガイドブック」、都発行「Life in Tokyo」、区発行「新宿生活スタートブック」の3冊子の目次と項目について、事務局から説明を受けた。その後、委員から意見が出された。

- ・読んでいて翻訳が上手くいっていないと感じる。せっかくここまで作っているのだから、もう少し考えると良いと思う。
- ・区の冊子は、書いてある日本語自体が難しい。国の冊子（やさしい日本語版）は、概念自体もかみ砕いて説明されており、配慮されていると思う。区もやさしい日本語で書くことが出来ると良いが、分量が増えてしまう課題もある。
- ・在留し続けるために注意しなければならないことや住宅ローンを将来的に組むためにはどうしたら良いのかなど外国人が日本で長く住むための情報もあると良い。
- ・海外に行ったら、まず必要なのは住まいのこと。外国人対応している不動産業者の情報も入れると良いと思う。
- ・留学生から聞いた話だが、来日したその日に住民登録、国民健康保険や口座の開設をしたが、なぜ必要なのか分かっていなかったそうだ。なぜ日本でそれが必要になるのか最初に理解してもらうことが重要では。
- ・このような冊子を日本に来る前に予習してもらう仕組みをつくる必要があると思う。
- ・初めて来日する人もいれば長く住む人もいて、その都度悩みは変わっていくと思う。日本で楽しく過ごすための初級編や中級編もあると良い。
- ・新宿生活スタートブックに記載されているLINEアカウントに早速登録してみたが、とても便利で分かりやすい。

(3) ルールと文化について

事務局から「ルールとマナーの比較」について、都発行「外国人在留マニュアル」と区発行「新宿生活スタートブック」の2つの冊子を基に説明を受けた。その後、委員から意見が出された。

- ・日本人の優しさ、あまり人に強く言えない部分が本にも表れていると感じる。ルールは必ず守ってほしいこと、マナーは知ってほしいこと、というような書き方にすると良いのではないか。
- ・ルールは、罰則が科せられることを併記する、マナーは、ポジティブなマナーも入れると良いと思う。日本に来たばかりの頃、声を掛けてもらい意味もよく分からず盆踊りに参加したが、そのような近所付き合いは良かった。日本人と仲間になれるように付き合いのマナーを盛り込むことで、ルールとマナーの仕分けができると思う。
- ・日本で育ったので、今までルールとマナーの違いを考えることはなかった。冊子に記載するほどのものは、ルールでもマナーでも多少強い言葉でも良いのではないか。
- ・区の冊子「日本文化コラム」ページで、お風呂の入り方とお箸の使い方、食事マナーが記載されているが日本人でも守っていない内容である。ここまで大きく取り上げず、「ちょっと一息」のような緩急をつけた扱いの方が良い。
- ・ルールとマナーを並列で考えるからややこしくなると感じた。マナーは日本で暮らし始めてしばらく経って、周りの空気感で「ちょっと恥ずかしいな」と感じてくるものがマナーなのでは。
- ・冊子に記載するのはルールだけで良いのでは。マナーは「恥をかかない、印象がいい」などアドバイスの的な感じで取り上げると良いと思う。
- ・ルールやマナーは先輩たちから日本に来たばかりの人たちに教えたら良いのではないか。
- ・外国人にとっては冊子に記載されているマナーもルールも日本人の曖昧さを感じる。ルールに関しては、はっきり明記するよう工夫した方が良いと思う。

(4) 新宿生活スタートガイドについて

「新宿生活スタートガイド」の動画に関し、前回意見の反映について事務局から以下の説明を受けた。

1. QRコード付きのチラシを作成し、戸籍住民課の窓口や記載台、壁に掲示した。
2. ホームページを変更した。 ①再生速度が変更できること ②外国語ごとのページを作成し、トップページに各言語でリンクを表示 ③トップページの各チャプターに平仮名のタイトルを追記

(5) 次回の日程

事務局から、次回会議の日程（2021年10月開催予定）について説明を受けた。